

1 部

学習サポート

各種申込締切について

- 『試験・スクーリング情報ブック2020』にてご確認ください。
 - ・ p. 4～5→学年暦 ・ p. 16～21→通信教育部カレンダー
 - ・ p. 40～43→社会福祉士 演習・実習科目関連締切等
 - ・ p. 44～46→精神保健福祉士 演習・実習科目関連締切等

新型コロナウイルス感染防止に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から大学の方針により、12月までのスクーリングおよび科目修了試験等について会場での実施を中止となっています。

皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、事情をご賢察のうえご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

詳細は、下記にお知らせいたしますので、ご一読ください。

なお、ご不明な点は、通信教育部事務室までお問い合わせください。

会場でのスクーリング・科目修了試験は、非常に困難な状況にあることをご理解いただきたく、お願い申し上げます。

下記は9/8現在のもので、今後の状況により随時変更となる可能性があります。急な変更や1月以降のスクーリング等も含め、最新情報は本学通信教育部ホームページでお知らせいたします。

◆12月まで、会場で行うスクーリング・科目修了試験などを中止

◆中止のスクーリング・科目修了試験等およびその代替方法

・本冊子3・4部をご参照ください。

- ・オンデマンド・スクーリングの申し込み等については、本冊子5部をご覧ください。

◆来年3月卒業希望者が受講可能なスクーリングについて

- ・開講期オンデマンド15（申込12/14㊄ 受講開始12/24 試験提出1/22㊄）までの受講が可能。
- ・計画的に学習を進めてください（『試験・スクーリング情報ブック2020』p. 39参照）。

◆社会福祉士・精神保健福祉士の実習について

実習係より対象者へ、必要に応じ文書等にてご連絡いたします。

今年度実習を予定されている方は、ご不安な日々をお過ごしのことと推察いたします。実習は国家試験の受験資格に係わるため、引き続き実習の指導教員を含めて慎重に検討を重ねております。

ご不明点等ございましたら実習係までご連絡ください。

◆各種対応等について

皆様からのお問い合わせに対して当面の間、次のとおり対応させていただきます。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしく願い申し上げます。

●事務室へのご質問・ご相談の対応について

- ・履修や手続きなどに関する事務室へのご質問・ご相談は、対面では行わず、電話・E-mail・FAX・郵送での対応となります。
- ・本冊子7部もご参照ください。

●電話等対応時間 10:00～17:00 ※水曜日は休業

●ご協力をお願い

- ・レポート、各種証明書の申込等は、郵送での提出にご協力ください。

注) 図書館（国見キャンパス）等については、本学図書館ホームページ
(<https://www.tfu.ac.jp/libr/>) でご確認ください。

コロナ禍における レポート学習のすすめ

教員 MESSAGE

講師 門脇佳代子

新型コロナウイルス感染症の登場により、現在、私たちの生活は多くの制約を受けています。担当する「基礎演習」は年3回のスクーリングを実施していますが、今年はその全てが中止になりました。この科目は学習方法の基礎を学ぶことを目的とし、参考資料の探し方や、調べたことのまとめ方、レポートの書き方などを実地に体験学習します。また、主体的学びを重視するため、グループワークを中心に学生同士が助け合い、そこでのつながりが更なる学習意欲へとつながっています。しかし残念ながら、今はそうした学生間の交流をともなう授業の開催は難しい状況にあります。そこで、この場を借りて、レポートが書き出せないという方に向けて三つのアドバイスを送りたいと思います。

ポイント1

レポート課題をよく読み、項目(目次)を立てましょう！

レポート課題は短文の場合がほとんどですが、そこには学んでほしい内容が端的に示されています。まずは、文章の末尾に注目してください。例えば、「～を説明せよ」とある時は教科書や参考資料をまとめることが重要ですし、「～について考察せよ」とある時は、まとめた上で自分の考えを述べる必要があります。このように、学習の着地点をまず意識します。その上で、具体的に何を調べよと言っているのか、課題文に出てくるキーワードをひろい上げていきます。

課題文を読み解いたら、キーワードをヒントに、レポートの項目(目次)を作っていきます。漠然と書き出すのではなく、はじめに全体像をイ

メージしてから論述の方が書きやすいでしょう。なお、科目によって方針が異なる場合があるので個々の指示に従ってほしいのですが、文字数2000字程度の場合、個人的には提出時のレポートに項目の見出しは不要と考えます。つまり、構想段階では項目をつくり、実際の作文では内容の変わり目を段落によって示すようにします。

ポイント2 考える時間 < 調べる時間

初学者がおちいりやすいワナのひとつに、考えることに時間を割き過ぎることがあります。レポートは和訳すると「報告書」であり、あくまでも教科書や参考資料から得た知識を整理していくことが大事です。考察が求められる課題であっても、その根拠となる客観的事実を積み重ね、最後の段落で自分の意見を述べるのです。新しいことを自力で発見する必要はありません。「まとめるだけ」と思うと、少しハードルが下がりませんか？

ただし、注意してほしいのは、「まとめるだけ」と言っても1冊の教科書で済まそうとすると、どうしても丸写しになりがちです。それを避けるためには、教科書以外にもレポートのネタを探しましょう。科目ごとに提示される参考文献はできるだけ目を通すことをお勧めします。他に、インターネットで読める新聞などのニュース記事や、白書（官公庁の発表する政策や各種統計）を利用することも有効です。

ポイント3 とりあえず提出しましょう！

一通りの文章が書き終わったら（誤字脱字がないかを確認したうえで）、すぐにポストへ投函にいきましょう。通信教育においてレポートの位置づけは非常に大きく、その理由は、皆さんと教員との間でやりとりするレポートこそが授業であり、対話だからです。「基礎演習」のスクーリング

において、レポートを最後まで書いたものの、きちんと書けているか心配で提出できない、という声をしばしば耳にします。一生懸命書いたレポートが再提出の評価で戻ってきたときの気持ちは、想像に難くありません。しかし、しっかりとした知識と理解を身につけていただくための再提出であり、決して不合格を通知するものではないとご理解ください。教員はみな、皆さんの精いっぱい成果であるレポートを待っています。

以上、すぐに使えるレポート学習のコツを挙げさせてもらいました。ただし、勉強方法に絶対はなく、本を読み、インターネットを検索して資料を集め、文章にまとめる、その繰り返しの中で自分に合った方法を身につける他ないと思います。焦らずに、まずは目の前の一本のレポートに取り組んでみてください。

最後に少しだけ、自分の専門領域のお話をさせてもらいたいと思います。私の専門は日本美術史といい、その中でも仏教美術、いわゆる仏像を中心に研究活動をしています。日本で一番有名な仏像は奈良（東大寺）の大仏だと思いますが、この大仏造立の背景に疫病（伝染病）の蔓延があったことをご存知でしょうか？ 大仏を造ろうとしたのは奈良時代の聖武天皇です。この時代は天平文化の華やかなイメージがありますが、聖武天皇の治世であった8世紀前半、さまざまな災いが立て続けに起こりました。728年に待望の男児であった皇子が1歳をまたず死去すると、翌年には長屋王の変、732年と733年には干ばつと飢饉、734年には大地震が起き、735年と736年に再び凶作。そして、737年には天然痘が大流行しおびただしい数の人々が死んでいきました。この間の経緯を見ると、近年の激甚災害の数々や、今まさにコロナ禍にある現状と重なります。聖武天皇は大仏造立の理由を全ての動植物が栄える世の中をつくるためとし、一本の枝や一握りの土を手にとって来る人にも参加してもらうようにと述べました。こう

して、多くの人々の力で大仏と大仏殿は完成したのです。歴史を振り返ると、大きな困難にも決して人々の情熱は失われない、むしろそれを乗り越えるためにより強い行動力が発揮されるのだと感じます。

全世界の人々が直面している新型コロナウイルス感染症は、まちがいないく今後の社会を大きく変えるでしょう。皆さんが自らの意思で学びつづけることは、時代の転換点を生き抜く大きな支えになることと思います。